

# 保健室より

秋にかけて、流行する感染症についてお知らせします。予防の基本は「手洗い」「うがい」「バランスの取れた食事」「規則正しい生活」です。習慣になるよう心掛けましょう。

病名	症状	潜伏期間	登園の日安
溶連菌感染症	咽頭痛・食欲低下 発熱・発疹	2～5日	内服後24～48時間経過後 全身状態が良いこと
手足口病	手、足、口に発疹 唾液の増加・発熱	3～5日	解熱後(37.5℃未満)1日経過後 全身状態が良いこと
ヘルパンギーナ	咽頭痛・発熱 嚥下痛	3～6日	解熱後(37.5℃未満)1日経過後 全身状態が良いこと
感染性胃腸炎	嘔吐・下痢 発熱	ロタ 1～3日 ノロ 12～48時間	普通便が出ていること 全身状態が良いこと
RSウイルス感染症	鼻汁・咳・発熱 ゼーゼーした胸の音	4～6日	鼻汁・咳・胸の音が治まっていること 全身状態が良いこと

※全身状態が良いこととは、咳・鼻水等の風邪症状がなく、食欲が戻り通常通りの生活ができる事。

## <感染症でもっとも考えられる感染経路>



## <予防の為の留意点>

### せきエチケットを守ろう



手洗い・消毒の徹底



感染症は、手洗い・消毒・マスクをしないと広がっていきます。

## 「病気がうつらない・病気はうつさない」

感染予防の一環として「鼻水・咳・くしゃみ」等の風邪症状がある場合には、受診して症状がなくなる迄家庭保育をお願いします。また、下痢症状の場合には、普通便を数回確認してからの登園にご協力下さい。集団生活の場となりますので十分にご理解していただいたうえで、登園についてご判断をお願いします。



初期症状が出始めたら早めに受診し、体調管理に気を付けましょう。

